

文脈で使い分けよう

問1 似た言葉の使い分け 文脈により適した言葉を選びなさい。

問1 (発展)

調査で分かったことを報告書にくわしく（述べる／しゃべる）。

答え 述べる

報告書など改まった場面では「述べる」が適切。

問2 (発展)

作成途中の文書は、消えないようにこまめにパソコンに（保存／保管）する。

答え 保存

電子データを記録して残す場合は「保存」が適切。

問3 (発展)

学校から預かった大切な資料は、返却日までなくさないよう鍵のかかる棚に（保存／保管）した。

答え 保管

紙の資料などの物を、決められた場所に置いて管理する場合は「保管」が適切。

問2 文脈から意味を考える 文中の言葉に最も近い意味を選びなさい。

問4 (発展)

場面に応じて適切な言葉を選んだ。「適切」に最も近い意味はどれですか。

ア ふさわしい イ めずらしい ウ はげしい

答え ア ふさわしい

「適切」は、その場や目的によく合っていて、ふさわしいことを表す。

問5 (発展)

割れやすい作品なので、慎重に箱へ入れた。「慎重」に最も近い意味はどれですか。

ア 注意深く イ 急いで ウ 気軽に

答え ア 注意深く

失敗しないよう十分に気をつける意味。

問6 (発展)

話し合いの目的を明確にしてから始めた。「明確」に最も近い意味はどれですか。

ア はっきりしている イ 変わりやすい

ウ むずかしい

答え ア はっきりしている

「明確」は内容や区別がはっきりしていることを表す。

問3 文脈と意味の関係 文脈や意味の関係を考えて答えなさい。

問7 (発展)

説明の内容は理解できたが、その決定にはまだ（理解／納得）できない。

答え 納得

内容が分かることは「理解」、考えや理由を受け入れてもっともだと思うことは「納得」。この文では「納得」が適切。

問8 (発展)

「幸福－幸せ」の関係として正しいものを選びなさい。

ア 類義語 イ 対義語

答え ア 類義語

「幸福」と「幸せ」は、満ち足りたよい状態を表す意味の近い言葉。